



館長就任ごあいさつ

当館開館以来9年余にわたり館長を務められた藤本強氏が昨年急逝され、その後任として今年4月より館長となりました菊池徹夫です。前館長同様、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

はじめに、このたびの東日本大震災で被災された方々及び原発事故で苦しみに遭われている方々に、心からお見舞い申し上げます。

当館でも、収蔵庫や野外の復元施設に大きな被害が生じましたが、これらの部分を除いて5月1日より再オープンすることができました。

当館は、福島県の貴重な数多くの文化財資料を収蔵・管理し、これを公開・展示するとともに、体験学習などを通じて歴史を身近に感じていただけるプログラムを提供することを目的に、平成13年に白河市に開館し、今年7月で開館10年を迎えることとなりました。お陰様で、開館以来これまでに約33万人の方々にご来館いただきました。当館をご利用、ご支援いただきました皆様方に、厚く御礼申し上げます。

平成23年度は、10周年を記念して様々なイベントや行事を計画しておりましたが、今般の震災により計画の大幅な見直しを行いました。主な行事は最後のページに記載しましたが、今回の震災で大変苦難を強いられている本県浜通りの復興を祈念しまして、7月から当館収蔵資料により浜通りの素晴らしい歴史を企画展示することとしました。

「見て・触れて・考え・学ぶ」フィールドミュージアムを目指して10年、文化財を通して今後とも「元気」を発信し続けてまいりたいと考えておりますので、皆様当館を是非ご活用いただきますようお願い申し上げます。

〔菊池徹夫館長の経歴等〕

- 昭和14年 北海道函館市生まれ
- 昭和42年 東京大学助手
- 昭和61年 早稲田大学教授
- 現在 日本考古学協会会長 早稲田大学名誉教授
- 主な著書 「考古学の教室 ゼロからわかるQ&A 65」
「北方考古学の研究」「文字の考古学」



〈菊池徹夫館長〉

常設展示

まほろんの常設展示は、「めぐみの森」・「暮らしのうつりかわり」・「暮らしをささえた道具たち」・「遺跡を掘る」ジオラマ・「みんなの研究広場」・「クイズふくしま歴史発見」・「のぞいてみよう福島の遺産」・「しらかわ歴史名場面」・映像展示「ふくしまの文化財」から構成されています。「暮らしのうつりかわり」の各時代ブースは、食卓あるいは台所の一部を復元し、各時代の道具や復元した器（うつわ）に使用時を推定して盛りつけ、実物資料を配置して露出展示する方法を採用しています。

3月11日（金）に発生した東日本大震災では、常設展示室で若干の被害が確認されました。「暮らしのうつりかわり」では、ガラスコップなどの展示品が落下して破損し、展示ケース内の展示品が散乱しました。このため、復旧作業は破損品の撤去と共に、震災前に



＜「暮らしのうつりかわり 昭和40年代」の被害状況＞

撮影していた記録を参考にしながら再開館に向けて準備を行いました。

特に、展示品の復旧にあたっては、万一落下しても展示品どうしが接触しないような工夫を行いました。

野外展示

まほろん「野外展示」では、東日本大震災により復元展示物が損壊する被害を受けました。

主な被害は、「縄文時代の家」「奈良時代の家」は主柱の浮き上がりや側壁の崩落、「前方後円墳」は石室入り口のヒビや墳丘の沈下、「奈良時代の倉庫」は入り口扉や階段の落下など多数認められました。

震災後、早急に被害箇所の応急処置を施し、復元展示物などの構造体を調査しましたが、その後の度重なる余震により被害箇所が拡大したため、展示物内には出入りができない状態となりました。

損壊した野外展示の根本的な修復工事については、まだ見通しがたっていないため、その間は縄張り等により立ち入りを制限しております。ただ、野外広場は自由に散策できますので、古代の小径など、まほろん



＜「奈良時代の倉庫」の被害状況＞

の緑あふれる自然の情景を是非楽しんでいただきたいと思います。

一般収蔵庫

東日本大震災では、まほろんの大きな倉庫「一般収蔵庫」も大きく揺れましたが、中に収納している福島県の宝物、土器や石器はほとんど無事でした。その秘密は収納方法にありました。

まほろんでは土器や石器を、紙のザブトンでくるみ、箱に収めています。これで多少の衝撃は吸収されます。さらに箱を収納棚に置き、棚にはベルトを設置して箱の落下を防ぎました。棚自体も上部を連結する「頭つなぎ」となっていて、大きな揺れでも倒れませんでした。このように、何重にもめぐらされた災害対策によって、福島県の宝物は守られました。

しかし、一般収蔵庫の建物は、柱を支えるコンクリートが割れるなど、構造の一部が損壊したことから安全上収蔵庫への立ち入りを禁止する措置をとっておりま



＜福島県の宝物を守った落下防止用ベルト＞

す。今後はできるだけ早く修理し、バックヤードツアーなどにより、皆さんに福島県の宝物をご覧いただきたいと考えています。

なお、鉄製品や木製品を収納する特別収蔵庫は、施設・収納品ともに無傷でした。

団体利用の申し込み

まほろんでは、毎年多くの団体の方々から展示物の見学や様々な体験活動などにご利用いただいております。平成22年度は小中学校や公民館、子ども会、福祉団体、観光ツアーなど300近い団体で1万人を超す方々にご来館いただきました。

ご利用を希望される場合には、まほろんのホームページ内の「団体利用」をご覧ください。

東日本大震災の影響で、収蔵庫及び野外復元施設内の見学ができませんが、収蔵庫内で行っていた「いろいろな土器にさわってみよう」は、希望に応じて研修室などで行います。

皆様のご利用をお待ちしております。



＜団体利用の様子ー火おこし＞

平成22年度の入館者数

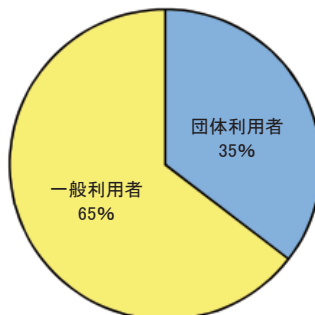
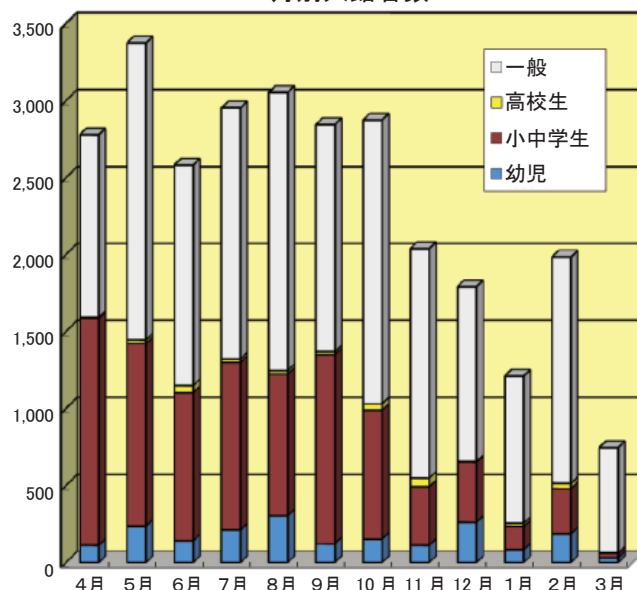
平成22年度は、約2万8千人の方々が入館しました。開館以来初めて3万人を割ることとなりましたが、長引く景気低迷の影響及び3月11日発生 of 東日本大震災による臨時休館が大きな要因と推測されます。

そんな中で平成22年4月に平成13年7月の開館から“30万人目”の入館者を迎えることができました。

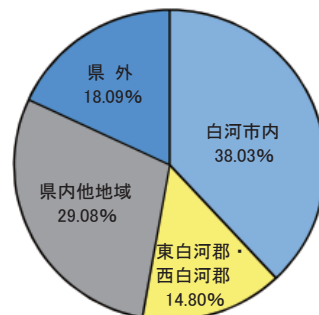
本年5月1日に再開した今年度ですが、7月には開館10周年を迎えます。様々なイベント、実技講座、研修会や企画展を予定しておりますので、多くの方々のご来館をお待ちしております。

	幼児	小中学生	高校生	一般	入館者合計
4月	113	1,475	5	1,186	2,779
5月	238	1,186	22	1,930	3,376
6月	142	961	47	1,432	2,582
7月	212	1,089	21	1,631	2,953
8月	304	920	23	1,806	3,053
9月	122	1,227	20	1,476	2,845
10月	152	838	41	1,843	2,874
11月	113	380	56	1,489	2,038
12月	262	391	4	1,134	1,791
1月	85	151	20	954	1,210
2月	188	292	35	1,469	1,984
3月	32	30	2	682	746
合計	1,963	8,940	296	17,032	28,231

月別入館者数



団体利用比率



地域別構成比

まほろんからのお知らせ

まほろんのホームページが新しくなりました

開館以来、親しまれてきた当ホームページですが、より一層ご活用いただきやすいように、平成23年5月26日(木)に、トップページをリニューアル致しました。今後とも、当ホームページをよろしくお願ひ致します。



ご利用案内

- 開館時間** 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日** 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合はその翌日、ただしGW・夏休み期間中は開館)、国民の祝日の翌日 (土曜日・日曜日にあたる場合は開館)、年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料** 無料 (体験学習によっては、材料費が必要な場合もあります。)
- その他** 団体 (20名以上) でご利用の場合は、事前にご予約ください。

今年度の行事予定

1 まほろんイベント

期 日	イベント名	イ ベ ン ト 内 容	募集締切	募集人数	対 象	参加費等
7月31日(日)	まほろん夏まつり	古代3種競技の「まほろんカップ」を開催。	—	—	どなたでも	無料
9月17～19日 (土～月)	まほろんを描こう	まほろんの敷地内で絵を描きます。	—	—		
11月6日(日)	まほろん秋まつり	特別体験メニューを楽しめます。	—	—		
12月4日(日)	まほろんもちつき大会	堅杵と横杵などで餅をつきます。	—	—	小学生以上	無料
1月14日(土)	第8回双六大会	昔の遊び「双六」のトーナメント戦を行います。	1月9日(月)	20名	どなたでも	
2月19日(日)	まほろん冬まつり	色々なコーナーで体験学習が行えます。	—	—	小学生以上	
3月10日(土)	第8回毬杖大会	昔の遊び「毬杖」を行います。	3月5日(月)	20名	小学生以上	

(小学3年生以下は保護者同伴)

2 実技講座

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
6月11日(土)	まっ茶茶わんをつくろう①	手びねりでまっ茶茶わんをつくります。	(終了しました)	16名	中学生以上	500円
6月12日(日)	まっ茶茶わんをつくろう②	高台をけずりまっ茶茶わんを完成させます。	〃	—	—	—
7月2日(土)	カラムシから布をつくろう①	カラムシを刈り取り、繊維を取り出します。	6月24日(金)	16名	中学生以上	500円
7月23日(土)	カラムシから布をつくろう②	カラムシの繊維から糸をつむぎだします。	—	—	—	—
8月6日(土)	古代の染色にちょうせん	タデアイを用いた絹布の染色をします。	8月1日(月)	午前・午後各16名	小学生以上	1,200円
8月28日(日)	古代の印章をつくろう	世界で1つの自分の印章をつくります。	8月20日(土)	16名	小学生以上	400円
9月3日(土)	カラムシから布をつくろう③	7月につむいだ糸でアンギン編みの布をつくります。	—	—	—	—
9月23日(金)	鹿の角で釣り針をつくろう①	鹿の角をけずって釣り針をつくります。	9月16日(金)	12名	小学生以上	500円
9月25日(日)	鹿の角で釣り針をつくろう②	鹿の角の釣り針で魚釣りに挑戦します。	—	—	—	—
10月15日(土)	ひょうたんから容器をつくろう	自分だけのひょうたん容器をつくります。	10月7日(金)	20名	小学生以上	100円
10月22日(土)	縄文クッキーをつくろう	木の実等を材料に縄文クッキーをつくります。	10月14日(金)	12名	小学生以上	300円
12月17日(土)	家族で凧をつくろう	凧をつくって凧上げをします。	12月9日(金)	家族10組	小学生以上	300円
12月23日(金)	家族で門松をつくろう	お正月飾りの門松をつくります。	12月16日(金)	家族10組	小学生以上	600円
1月21日(土)	古銭をつくろう	石膏の型に金属を流して銭をつくります。	1月13日(金)	12名	小学生以上	600円
2月4日(土)	縄文土器づくり上級編①	文様や形の複雑な縄文土器をつくります(形づくり)。	1月27日(金)	10名	中学生以上	1kg100円
2月5日(日)	縄文土器づくり上級編②	〃 (文様づけ)。	—	—	—	—
2月25日(土)	ガラスと組紐のアクセサリをつくろう	ガラスの小玉と組ひもをつくります。	2月17日(金)	15名	小学生以上	500円
3月17日(土)	縄文土器づくり上級編③	2月につくった縄文土器を野焼きします。	—	—	—	—

(小学3年生以下は保護者同伴)

3 まほろん森の塾(本年度の塾生を6月30日まで募集しております)

期 日	内 容	募集人数	対 象	参加費
7月17日(日)～ 12月17日(土)	夏～秋を通して、原始・古代の衣・食・住をたのしく体験します。(5回開催)	15名	小学4年生～ 中学3年生	1,000円

4 まほろん文化財講演会(申込不要) 会場:まほろん講堂

期 日	講 演 題	募集締切	募集人数	対 象	入場料
6月25日(土)	第1回「複式炉と堅果類から見た縄文時代」	—	60名 (先着順)	どなたでも	無料
9月17日(土)	第2回「浜通りの原始・古代」				
10月1日(土)	第3回「災害と考古学Ⅰ」				
11月26日(土)	第4回「災害と考古学Ⅱ」				
1月21日(土)	第5回「農耕社会の成立」				
3月17日(土)	第6回「亀ヶ岡文化の魅力」				

5 館長講演会(申込不要) 会場:まほろん講堂

期 日	内 容	募集人数	対 象	入場料
7月17日(日)	まほろん開館10周年記念館長講演会「まほろんの10周年によせて」	60名 (先着順)	どなたでも	無料
10月22日(土)	第1回館長講演会「歴史は知恵の森—東日本大震災に思う—」			
12月17日(土)	第2回館長講演会「歴史は知恵の森—藤本前館長の思い出—」			
2月18日(土)	第3回館長講演会「歴史は知恵の森—日本における世界遺産の現状—」			

※事前申し込みの必要な実技講座等は、電話・ファックス・ホームページ、館内備え付けの「申し込み書」にてお申し込み下さい。